

利息法による償却原価法の会計処理 演習問題 正解

X社は2000年4月1日に次のような条件で発行されたA社の社債を589,867.4486万円（券面額600,000万円）で購入した。X社はA社社債を満期保有目的の債券に分類した。なお、ここでの券面額と発行価額との差額はすべて金利調整の性格をもつものであった。

1. 約定利率：3% 利払いは年1回で3月末日とする。
2. 償還日：2016年3月31日
3. X社は利息法による償却原価法を採用することにした。その際の実効利率は3.2%であった。（参考）

$$\frac{18,000}{1+0.032} + \frac{18,000}{(1+0.032)^2} + \dots + \frac{18,000+600,000}{(1+0.032)^{10}} = 589,867.4486$$

〔問1〕利息法による利息の配分計算を表す下記の計算表を完成せよ。

〔問2〕2011年3月末日決算時の利息法に基づく償却原価法に係る仕訳を示せ。

利息法による利息の配分計算表

（単位：万円）

決算日	約定利息	金利調整差額の配分額（償却）	利息合計	償却原価（社債の期末簿価）
2001.3.31	18,000	875.7584	18,875.7584	590,743.2069
2002.3.31	18,000	903.7826	18,903.7826	591,646.9895
2003.3.31	18,000	932.7036	18,932.7036	592,579.6931
2004.3.31	18,000	962.5502	18,962.5502	593,542.2433
2005.3.31	18,000	993.3518	18,993.3518	594,535.5951
2006.3.31	18,000	1,025.1390	19,025.1390	595,560.7341
2007.3.31	18,000	1,057.9435	19,057.9435	596,618.6776
2008.3.31	18,000	1,091.7977	19,091.7977	597,710.4753
2009.3.31	18,000	1,126.7352	19,126.7352	598,837.2105
2010.3.31	18,000	1,162.7907	19,162.7907	600,000.0012

（注）2010年3月31日現在の償却原価が600,000万円と一致しないのは、途中の計算で円未満を四捨五入したことに伴う誤差である。

2011年3月末日の決算における仕訳（単位：万円）

（現金）18,000 （有価証券利息）18,876
 （満期保有目的債券） 876